

夏期講習の受講の仕方を考える

—この夏休みに「学力」を身に着け、成績を向上させるために—

開倫塾

塾長 林 明夫

<開倫塾へようこそ>

1. 7月中旬～8月下旬まで約40日間の開倫塾の夏期講習会によるご参加くださいました。心から歓迎いたします。(Welcome To Kairin Juku School)

開倫塾では、開倫塾で学ぶ皆様のことを「塾生」とお呼びしています。今日から皆様は全員が「開倫塾の塾生」であります。

<開倫塾の塾生として、自覚と誇りをもって学ぼう>

2. 開倫塾は今から35年前の1979年に、日本最古の学校のある街、栃木県足利市百頭町で生まれた35年の伝統ある学習塾です。現在は栃木県、群馬県、茨城県の3つの県に62校舎があり、この夏休みには約7000名もの塾生の皆様が開倫塾で学んでいます。どうか、この夏、7月中旬～8月下旬までのおよそ40日間、開倫塾の夏期講習会で学ぶ皆様は、35年の伝統ある開倫塾の塾生としての誇りと、自覚をもってしっかりと学んで頂きたいと希望いたします。

<受験生としての自覚を一日も早く持とう>

3. 学校成績を向上させ、また、希望校への合格を果たすために一番大切なことは、「自覚」をもって学ぶことです。

(1) 来年の春、希望校への合格を果たすことを目指す受験生の皆様は、「自分は受験生である」という「自覚」を一日も早くもって、この夏休みの毎日を大切に大切に過ごすことです。「受験生としての自覚」をもてば、長時間の学習も全く苦になりません。学習すればするほどもっと学ばなければ間に合わないと思うようになり、学習に熱が入ります。

また、「受験生としての自覚」をもてば、学習の仕方、学習の方法も工夫するようになります。受験生として最も大切なことは「受験生としての自覚」を一日も早くもつことです。

(2) 受験学年以外の塾生の皆様も、何年か先に受験がひかえていますので、数年後には受験をするという「自覚」を一日も早くもって、この夏、学習するようにお願い申し上げます。あと何年かあれば、自分の希望する学校への合格は可能です。学習時間を十分にとり、学習の方法を工夫してくださいね。

<テキストはできるだけ予習を>

4. テキストは十分に予習しましょう。

(1) 予習として何をしたらよいか。



(2) お盆特訓や8月分授業を含め、夏期講習会の各期のテキストを自分の力で一行ずつ、じっくりと読み込み、どのような内容か「理解」すること。ことばの意味がよくわからなかったら「辞書」を用いて調べましょう。辞書で調べたことは、ノートやカードに書き写して繰り返し学習し、書き取り練習もして、すべて正確に覚えてしまうことが大切です。

(3) 予習で大切なことがもう一つあります。それは、テキストの「計算」や「問題」は「ノート」に必ず解いてみることです。「計算」は答えだけでなく、問題も必ずノートに書き写すこと。また、「計算」の途中の経過も必ずノートに書いておくことが大切です。

*一度やってみてわからない「計算」や「問題」は、わかるまで徹底的に調べることも大切な予習です。

(4) これが「予習」です。では、このような予習は何のために行うのでしょうか。「予習の目的」は「よくわからないことをはっきりさせてから授業に臨むため」です。

(5) しっかり「予習」をして、「わからないところをはっきりさせてから授業に臨む」ことを是非、この夏、実行に移してください。驚くほど開倫塾の先生方の授業がよく「理解」でき、また、「成績」が向上します。

5. 授業中の心構え

(1) 「欠席」、「遅刻」、「早退」、「おしゃべり」、「居眠り」などは、できるだけしないように心掛けましょう。ケータイやゲーム、スマホ、iPadなどは論外です。

*トイレは、授業前に家庭や塾でできるだけ済ませましょう。

(2) 授業中は、手を机の上に置き、先生の目を見て熱心に授業に臨みましょう。必要なことは、どどん「ノート」に取りましょう。

*大切なことが「ノート」に取れるのは、「大切な能力」の一つです。

6. 授業直後に必ずなすべきこと

(1) 授業中の「ノート」は、後で読みやすいように授業直後に「整理」しましょう。

(2) その日に授業で学んだ「テキスト」、「ノート」をもう一度学び直しましょう。

(3) その日に授業で学んだ「計算」や「問題」は、すべてもう一度ノートにやり直しましょう。

*どうしても、なぜそのような答えになるのかがよくわからなければ、開倫塾の生主に、その日か、次の日に必ず質問しましょう。わからないまま放っておかないことが大切です。

(4) 授業中にやらなかった計算・問題にもできるだけ挑戦。解答・解説集を見て、答え合わせをしましょう。

*なぜそのような答えになるのかがよくわからない計算・問題は、その日か、翌日に開倫塾の先生に質問しましょう。

(5) 最後に、その日に学んだ内容のすべての「音読練習」と「書き取り練習」を必ず行い、「スミからスミまで正確に身に着ける」ことを心掛けましょう。この「スミからスミまで」が大切です。

7. 開倫塾で「長時間自己学習」を!!

(1) 開倫塾では、開倫塾の先生方の勤務時間中であれば、塾生が保護者の承諾を得て申請をし、開倫塾の校長先生が許可した場合には、「長時間自己学習」を奨励しています。

*夜の 10 時 30 分以降は勤務時間外ですので、必ず帰宅し、自宅で学習してください。夜 10 時 30 分以降、塾生の皆様が開倫塾に居残るのは絶対に禁止です。よろしく御理解ください。

(2)ルールをよく守り、40 日間あまりで 150 時間を 1 つの目標に「長時間自己学習」にお励みください。

*自分で出したゴミはすべて自宅にお持ち帰りくださいますようお願いいたします。

(3)「長時間自己学習」の目標は、9 月からの本格的な学習に備えて「自ら進んで、主体的に学ぶ力」を身に着けることにありと開倫塾では考えます。

(4)開倫塾では、「学力」とは「自ら進んで、自主的に学ぶ力」であると考えます。

(5)「学校の定期テスト」でよい点数が取れることや、「模擬試験」などで希望校に合格できるだけの偏差値が取れること、「3 大検定」で希望する級に合格できることなどは、すべて、「自ら進んで、自主的に学ぶ力」という意味での「学力」が身に着いた結果です。

(6)この「自ら進んで、自主的に学ぶ力」(学力)を身に着けるには、自分のおかれている立場をよく「自覚」した上で、「学習の 3 段階理論」などを参考にしながら学習方法を工夫し、「長時間自己学習」を積み重ねる以外にありません。

(7)この「学力」は、2 学期以降の学習に役立ちます。希望校に進学したときにも役立ちます。皆様が将来、大学や大学院に進学したときや社会に出て仕事や社会的活動をするときにも役立ちます。一生にわたって役立つのが「自ら進んで、自主的に学ぶ力」という意味での「学力」です。テストの「成績はその結果」です。テストでよい「結果」を出したければ、「自ら進んで、自主的に学ぶ力」をまずは身に着けることです。

8. 最後に一言一大切なことは…

(1)①「自己責任(自分の行動には自分で責任を取る)」、②「自助努力(自分の身は自分で助ける努力をする)」、③「自分の未来は自分で切り開く」という考え方です。

(2)①「あきらめたらおしまい」、②「ピンチをチャンスに」という考え方が大事です。

(3)部活動がほぼ終わった中3、高3の受験生の皆様は、8月24日(日)以降の業者模試に全力集中してください。

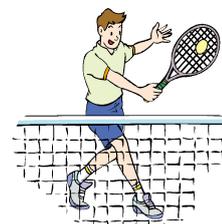
①受験勉強にとっての地区大会は8月24日(日)と考えることも大事です。

②「部活動の地区大会が8月24日(日)にある」と考えて、これからの1か月間、全力を傾けて受験勉強にお励みください。

③「8月24日(日)の地区大会」で希望校に合格できるだけの偏差値を勝ち取ることだけに集中すれば、必ず、成果は出ます。

④私は「一点突破、全面展開」という中国の革命家「毛沢東」のことばが好きです。

⑤8月24日(日)を「一点突破」の日と考え、その日まで全力を傾け、開倫塾を活用して受験勉強に集中してくださいね。



以上